

栃臨技ニュース

発行：栃木県臨床衛生検査技師会 〒320-8508 栃木県宇都宮市若草1丁目10番6号

発行責任者：小島 行雄

とちぎ福祉プラザ内

TEL (028)622-3991

FAX (028)622-4009

No.401

栃臨技ホームページもご利用下さい。 <http://tochiamt.on.arena.ne.jp/>

(注) ニュース版に間に合わない情報は、討議スペースに掲載されますのでご確認ください。
技師会事務局が留守番電話になっている場合で急を要する際には下記までお問い合わせ下さい。

事務局 大和 勤務先 上都賀総合病院検査科 TEL0289-64-2161

*ニュース版の電子化を計画中です。また、HPのリニューアルも5月をめどに行われます。
それにより、技師会行事(勉強会等)の案内等はメールでも(携帯電話へも)通知されます。
HPの確認、メーリングリストへの登録をお願いします。
詳細は順次お知らせ致します。

内 容

- 技師会よりお知らせ：栃臨技ニュース掲載内容変更のお知らせ
- 研究班活動案内
- 会員の動き
- 恵送御礼
- 組織部よりお知らせ：平成23年度各支部会での質疑内容
- 平成23年度 第6回理事会報告
- 会員のひろば：“家族でボウリング大会”に参加して

技師会よりお知らせ

栃臨技ニュース掲載内容変更のお知らせ

この度、世の中の電子化の波に同調して行く為に、新年度からは栃臨技ニュースに掲載しておりました研究班活動案内及び研究班主催のセミナー、日臨技、関甲信の研修会の詳しい内容につきましては、栃臨技HPやメーリングリストを介して情報提供、案内を行って参りたいと存じます。(メーリングリストへの詳しい登録方法は、栃臨技HPをご覧ください。)

また、栃臨技ニュースにつきましては、研修会案内の掲載内容を統一化する事によりスリム化を図って行く方向で検討しております。

栃臨技HPをより活用していただくことで当会の諸行事等も御理解頂けるものと思っております。

これからも、当会に御参加・御協力をいただき会員皆様と共に歩んで参る所存です。御理解の程をよろしくお願い申し上げます。

研究班活動案内

※研修会への参加には、日臨技会員カードを忘れずお持ちください。

※研修会の詳しい内容につきましては、栃臨技HPをご覧ください。

【血液検査研究班】 血液像初任者研修会 基礎編 120000744

開催日：平成24年 4 月17日（火） 18時30分～20時00分

会場：自治医科大学附属病院地域医療情報研修センター第2・3研修室 申込方法：当日自由に参加

【生理検査研究班】 心電図講習会 ～基本波形の見方と最近のトピックス～ 120000711

開催日：平成24年 4 月20日（金） 18時30分～20時30分

会場：栃木県立がんセンター 本館3階講堂 申込方法：当日自由に参加

【輸血検査研究班】 Rh(D)血液型について 120000722

開催日：平成24年 4 月27日（金） 18時30分～20時00分

会場：獨協医科大学病院 3階大会議室 申込方法：当日自由に参加

【生理検査研究班】 終夜睡眠ポリグラフ検査講習会 120000733

開催日：平成24年 5 月13日（日） 10時00分～16時00分

会場：獨協医科大学 138番教室 参加費 会員2000円 非会員3000円 学生会員無料

申込方法：5月7日（月）までに谷中 弘一（獨協医科大学病院）までE-mailまたはFAXにてお願いいたします。

E-mail：y-hiro@dokkyomed.ac.jp FAX：0282-86-4913

問い合わせ先：獨協医科大学病院 谷中 弘一

TEL：0282-86-1111 内線 3655

3月の会員の動き

《勤務先の変更》

090089 佐藤正枝 獨協医科大学病院 → 自宅会員

恵送御礼

平成23年度において、下記技師会様より当技師会へ、会誌、会報、精度管理報告書、記念誌等が届いております。会員にお知らせいたしますとともに、恵送の御礼を申し上げます。

北海道、宮城県、新潟県、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、富山県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、兵庫県、鳥取県、広島県、山口県、香川県、高知県、石川県

組織部よりお知らせ

平成23年度各支部会での質疑内容

各支部会において広報部長の藤元さんから『来年度からニュース版の発行回数を年6回に減らす予定であること。ラジオ放送を来年度も続けるかどうか。ご意見を伺いたい。』との報告がなされた。

第1支部

質問1. ニュース版の件について、回数を半分にすると何かデメリットがあるのか？

- ・会員名簿作成時において、理事がいない全施設に電話をかけその時感じたことは、ほとんどの施設がニュース版を見ていなかったことからデメリットはないと思う。
- ・印刷物として年間60万円近い予算がある。ニュース版は、来年度あたりから目先をかえてやりたい。IT(ホームページ含む)事業に関しても昔ながらで良いのか、方向性をかえるのか、ご意見を聞き検討、運営していきたい。
- ・ラジオPRに関しては、なぜ、レディオベリーなのか？ ターゲットは誰なのか？ 放送時間帯をばらけたらどうか？などの意見が出された。また、下野新聞、栃木テレビなども検討していただきたい。技師会予算がつけばぜひ、続けていけば良いのではなど意見が出された。

第2支部

質問1. 日臨技の役員報酬についての経緯を知りたい。

- ・詳しい経緯は不明である。11月12日の総会で趣旨説明があると思われる。栃木県としては現段階では反対の意向である。
- ・日臨技が公益社団法人から一般社団法人に移行することにより、法律上、会長職を兼任から専任に変更する必要がある。会長・専務理事で日臨技の組織を対外的に運用していく手当として思案した金額と思われる。前総会で公益法人から一般法人への移行は認められているため、規定の手当てが取り上げられている。日臨技で委任状を回収しているが、現在、50%ほどの回収に留まっており、11月12日の総会が成立するかは不透明である。

質問2. メーリングリストを技師会活動に利用することは賛成だが、受け取る側のPC環境がさまざまな中で、砕けた文章では困る施設もあり、最初の趣旨と異なるのではないか。

- ・現在、支部会からの要望を受けてメーリングリストを試験的に運用している。栃臨技全体の親睦も兼ねた使用を考えていた。メールを受け取る側の使用環境において問題が生じた場合は、メーリングリストから抜けることも可能である。今後、理事会でも検討していきたい。

質問3. 臭覚・味覚検査の研修会実施は、将来的に検査技師が携わるための実績として行っているのか。単独の自動血圧測定は、検査技師が行っても法律上問題は無いのか。

- ・臭覚・味覚検査について、認定を取得できるよう講習会等を開催して厚労省にアピールしていく。その手段の一つとして地区学会や全国学会で数年間にわたり講習会を開催して申請をしていく。また、日臨技でも対応するものとして医療安全管理者・マネージメント管理者・リーダー管理者も養成していくので挑戦していただきたい。

血圧測定について、現在検査技師が行っている検査に自動による血圧測定が含まれており、測定している現状を考慮すると単独での自動血圧測定だけが不可となる理由がない。手動での血圧測定でなければいいのではないと思われる。

質問4. 日臨技の保険は器具破損等でも賠償されるのか。

- ・日臨技HPに内容が掲載されている。パンフレットを配布予定なので詳細を確認していただきたい。

質問 5. 検査技師が検査結果の説明をしていいのか。

- ・チーム医療の中の臨床支援として検査項目を絞って説明をしている施設はある。医師と相談して決定しているのではないか。生理検査等では、検査結果の内容にかかわらず、慎重に対応することが必要なため、結果説明は行わない方がよい。

第 3 支部会

質問 1. メーリングリストについて、携帯から登録できるのか。

- ・携帯電話からは、登録できない。携帯電話から登録できたらいいと言う意見が出ているので、今後スマートフォンからなら可能にするソフトを購入する予定。

質問 2. 栃臨技ニュース版を減らすことについてどうか？ニュース版を見ている施設が少ない為、毎月発行しているものを 2 カ月に一度などに減らした場合どうなのか。

- ・2 か月に一度などに減らした場合、勉強会などの案内をメールや H P 等ですればよいと考える。理事会で話し合った結果ニュース版の内容及び校正方法を考え歳出を抑え継続しながらデジタル化への移行を検討する。

第 4 支部

質問 1. 日臨技の地域別編成（支部化）に伴い研究班活動の改訂はあるのか。また、赤字になった場合、補てんはしてくれるのか。

- ・詳細については、後日返答する。関東甲信地区の各研究班研修会は平成24年度に関しては支部への移行期間となるため平成23年度と同様に対応し予算も10万円とする。

質問 2. 技師会の会費は安くなるのか。

- ・現時点では変わりはない。

質問 3. 技師会及び臨床検査技師の P R 活動で F M ラジオ等の料金はどのくらいするのか。

- ・今年度の C M ローテーションでは、約 3 ヶ月間（26 回分）で 30 万円。平成24年度は日臨技からの委託事業費が減額されますので内容に関しては要検討となります。

平成23年度 第 6 回理事会報告

日 時：平成24年 2 月 16 日（木） 午後 6 時 30 分～午後 8 時 30 分

場 所：栃木県立がんセンター 2 階スタッフルーム

出席者：小島、羽角、大和、吉田、藤元、手塚、今野、橋本、大谷、八木澤、山川、奈良、谷、天谷、谷中、野尻、小泉

欠席者：秋葉、内田、関田

討 議 事 項

1. 各部局報告

① 精度管理事業部

(1) 会務活動内容

- ・1 月 23 日（月）精度管理報告書原稿の校正が終了、2 月 1 日（水）印刷が完了した。
- ・2 月 9 日（木）とちぎ健康の森にて栃木県臨床検査精度管理委員会が開催された。
微生物検査部門の山本芳尚技師（獨協医科大学病院）の転勤により後任に薄井啓一郎技師（大田原赤十字病院）を推薦、承認された。
- ・2 月 10 日（金）各参加施設・理事・関甲信各地区事務局・小委員・実務委員にコントロールサーベイ報告書を送付した。

(2) データ標準化事業

- ・1 月 20 日（金）臨床化学検査部門を対象とした二次サーベイ参加案内のお知らせを 12 施設に送付した。
申し込み締め切りは 1 月 31 日（火）で参加は 10 施設。結果は 3 月末までに送付予定。

・ 3月11日（日）自治医科大学地域情報研修センターにて精度管理報告会を開催予定。

② 研修事業部

- (1) 3月17日（土）に行われる第2回生涯教育研修会の出席者は現在19名の予定で、2月28日（火）の生涯教育委員会で最終的な打ち合わせを行い、具体的な内容等を決定する。
- (2) 会誌の投稿依頼について今年は13題受け付けてあり、2月24日（金）の締め切り日までに内容を送って頂く予定。

③ 組織部

(1) 厚生活動関連

- ・ 平成23年12月4日（日）足利市生涯学習センターにてそば打ち体験教室が行われ16名が参加した。
- ・ 2月19日（日）インターパークプラス1にて家族でボウリング大会を開催予定。
- ・ 平成24年度活動計画は次の通り。

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1) 第1回厚生活動委員会 | 5月17日（木） |
| 2) ソフトバレーボール大会 | 6月17日（日）で検討中 |
| 3) バスハイキング | 7月8日（日）で検討中 |
| 4) チャリティーゴルフコンペ | 9月2日（日） |
| 5) 第2回厚生活動委員会 | 11月22日（木） |
| 6) そば打ち体験教室 | 12月2日（日） |
| 7) 家族でボウリング大会 | 平成25年1月27日（日） |

(2) 支部会関連

- ・ 平成24、25年度の厚生活動委員は第2支部が保留、支部幹事は第1支部が調整中でそれ以外の支部は決定した。

④ 広報部

- (1) ニュース版の発行月について、総会で会員の方々にご理解を頂きながら減数する方向で検討していくが、現時点では毎月の発行とする。また、掲載内容を研究班及び日臨技や関甲信で開催される研修会等の簡単なお知らせだけにすることでページ数を減らし、詳細についてはホームページを観て頂くことで検討する。

⑤ 地域保健事業部

- (1) 3月10日（土）とちぎ健康の森にて平成24年度三歳児健康診査（尿検査）担当者説明会を開催し、日程確認と精度管理を行う予定。

⑥ 事務局

- (1) 平成24年秋の叙勲に小太刀充技師（済生会宇都宮病院）の推薦に関する書類を提出した。
- (2) 3月12日（月）平成23年度栃木県立がんセンター運営連絡協議会が開催される予定。
- (3) 2月18日（土）とちぎ健康の森にて開催される「がんを知る 全国セミナーin栃木」に協賛した。
- (4) 平成23年度第2回定期総会は3月23日（金）栃木県立がんセンター講堂で開催予定。
- (5) 最近、連絡文書の割り印が簡略化の傾向にあり、各県技師会からの文書にも押していないことが多い為、栃木県でも契約書等を除く各連絡文書の割り印を簡略する方向で進める。

⑦ その他

- (1) 3月末で現理事の任期が終了するが、一般社団法人への移行時期でもあり、理事の中で次期も務めることが可能な方は引き続きお願いしたい。
- (2) 2月17日（金）東京都技師会60周年記念式典に小島会長と羽角副会長が出席する。
- (3) 2月18日（土）関東甲信地区臨床検査技師会の理事会と人材研修会に小島会長と羽角副会長が出席する。
- (4) 3月9日（金）栃木県立衛生福祉大学の卒業式に小島会長が出席する予定。
- (5) 日臨技会長選挙において、栃木県技師会は関東甲信地区臨床検査技師会会長ならびに長野県臨床衛生検査技師会会長である宮島喜文氏を推薦することになった。関甲信地区の投票率を上げたいので会員各位に選挙への参加をお願いする。
- (6) 日臨技平成23年度第2回定期総会の委任状は、総会に出席する小島会長に委任するようお願いする。

	文責	小泉
議事録署名人	谷	祥子
議事録署名人	天谷	重好

☆ 会員のひろば (^o^) ☆

今年も家族でボウリング大会を2月19日（日）に上三川インターパーク プラス1で開催いたしました。ご家族や個人の参加者など19名で楽しい時間を過ごすことができました。

見事優勝しました獨協医科大学病院の岡本 友紀さんに感想文をいただきました。

“家族でボウリング大会”に参加して

獨協医科大学病院 岡本友紀

2月19日（日）、インターパーク プラス1にて、家族でボウリング大会が開催されました。私は娘と一緒に参加しました。

前年度優勝者による始球式で大会が始まりました。

私と娘はノーガーターということで、案ずることなく思い切って投げることができました。久々のボウリングにも関わらず、1ゲーム目からかなり調子がよく、ノーガーターは必要なかった（気のせい？）かもしれません。逆に娘はノーガーターの柵をうまく利用して、ビリヤードのように当てながらピンを倒していました。他のチーム（レーン）ではスペアやダブル、ターキーなどが出るたびに、歓声や拍手が起こり、和気藹々と時が流れていきました。

あっという間の2ゲームが終わり、参加者全員でお弁当を食べながらの表彰式となりました。本当は優勝を狙っていたのですが、あと一歩及ばず、3位という結果でした。しかし、幹事さんは辞退というルールが適用され、繰り上がり優勝者になってしまいましたf(^_^;)。うれしい反面……（そんなわけで、この大会感想文を書いています）。えっ、もしや来年は始球式も!? 娘も、子供特別ハンデによる計算でブービー賞をいただきました。

厚生活動への参加は新人の時のソフトバレー以来でしたが、楽しい充実した時間を過ごすことができました。厚生部役員の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。そして、参加された皆様、お疲れ様でした。

来年は真の優勝者になれるようこれから鍛えていきたいと思います。そして私の連覇を阻止する方のチャレンジ待ってます (^o^)b。



〈ボウリング大会より〉